

視点を変えてみたら、との思いで、生きもののお付き合いの参考にどうぞ。

○ぶつぶつぶやき○²⁹

ザーッと雨が降った後に草むらなどを何気なく見てみると、葉っぱの下に隠れているチョウを見つけることがあります。たいがい、葉っぱの下で、小枝（茎）につかまり、羽を下におろしてぶら下がっています。羽根が広いチョウの場合、確かにこの態勢が最も雨粒を受けずに済むのでしょう。スズメやツバメなど、人家の近くで暮らしている鳥は、軒下などに身を寄せ合ってチュンチュンいいながら雨宿りしているのを見かけることもあります。しっかり羽繕いしている鳥は、少々雨など弾くことができますが、出来れば濡れたくないのでしょう。

野外に棲む生きものたちは、どこでどうやって雨や風、時には雪、あるいは暑さなどから身を守っているのでしょうか。台風などがきても過ぎ去れば、元気に姿を見せる生きものたちには、きっととっておきの隠れ場所や方法があるのでしょうか。ちなみに左の写真の草の中でチョウが雨宿りしています。どこにいるか分かりますか？ <さんじゃく>



お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会

(NAIS Fukuoka: The Nature Interpreter Society of Fukuoka)

代表：田村耕作／事務局長：小野 仁／

編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子／会計：宮原俊彦

〒814-0144 福岡市城南区梅林2丁目10番23号

ハイツ中村401

自然案内舎(旬)クラブ内 TEL & FAX: 092-400-1765

URL: <http://www.kurabird.com/>

掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

★都市公園で自然観察会 84★

春日公園で、初夏を、ゆっくりと観察します。

☆日時 5月20日 (日) 集合14時～解散16時

☆場所 春日公園・旧売店 前

会員200円、一般300円です。協力をお願いします。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 092-400-1765 [FAX兼用]

Email kurabird-.tamura@nifty.com

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300 円（中学生以下無料）

5/20（日）6/17（日）
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時 間：9:00～12:00
集 合：天拝山歴史自然公園
問合せ：090-7165-5026（重松尚紀）

5/27（日）6/24（日）
久末ダム探鳥会（福岡町）
時 間：9:00～12:00
集 合：久末ダム多目的広場横
駐車場（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

6/3（日）
今津探鳥会（福岡市西区）
時 間：9:00～12:00
集 合：玄洋高校西側道路
問合せ：092-891-9005（神園道男）

6/9（土）
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
時 間：9:00～12:00
集 合：ポート乗り場前
問合せ：092-573-1827（森健児）

6/10（日）
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時 間：9:00～12:00
集 合：JR 和白駅前公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

6/5（火）
県営春日公園（春日市）
時 間：10:00～12:00
集 合：旧売店前
問合せ：092-592-3423（小野仁）

日本野鳥の会 筑後支部

福岡植物友の会 主催

5/27（日）
濃施山公園（大牟田市）
時 間：9:00～
集 合：公園内すいせん橋
問合せ：野田達行 0944-58-1672

5/20（日）
サントリーの森（熊本県益城）
予約必要
問合せ：092-662-2983（佃 昇）

産卵中のベニキジラミ ミツバアケビ 三国・松永

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催 <http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

6/2（第1土曜日）
自然観察会（植物・昆虫・野鳥など）
集 合：九州歴史資料館駐車場
時 間：9:30～12:30
問合せ：092-920-3072
参加費：大人 200 円
参加された方には新しい「自然観察マップ」も差し上げます。
ブログ 「三国丘陵の自然を楽しむ会」で

[検索](#)

観察会や様々な生きものの情報を載せています



キビタキ 三国・松永



三国丘陵の自然を楽しむ会 観察の様子

和白干潟を守る会 主催

久留米の自然を守る会 主催

5/26（土）
守る会定例会議
時 間：10:30～
集 合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

5/26（土）
クリーン作戦 と自然観察会
時 間：15:00～
集 合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）

5/20（日）
樹木の名札付け
時 間：10:00～
集 合：森林つつじ公園
問合せ：<http://kurumenoshizen.net/>

2018年4月 私のデジカメ日誌より 本のむし

今回は、4月1日（旧暦2月16日）～4月30日（旧暦3月15日）までのデジカメ日誌です。



4月4日(旧暦2月19日) 筑紫野市天拝坂
庭に出て来たミツバアケビの花。これは雄花のようだが雌花が見えない。雌雄同株で雌雄異花のはずだけど・・・



4月19日(旧暦3月4日) 福岡市南区桧原刻の森
和名をやハズエンドウという。種子の先端にまだ花がらがついている。この鞘は褐色に熟すと種をねじり飛ばす。通称カラスノエンドウ。この時期、この豆はおいしそう。



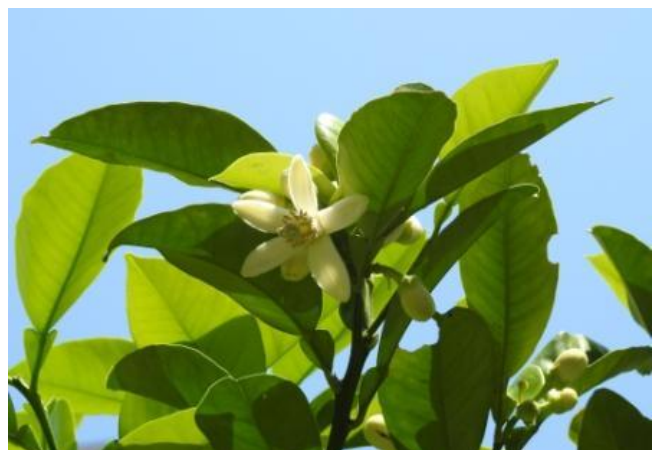
4月21日(旧暦3月6日) 大野城市瓦田 自然の宝道
バラ科のオオカナメモチと分かるのに少し時間がかかった。マテバシイのような葉。アジサイのような花。ホルトノキのように、ところどころに赤い葉。いろいろですね。



4月4日(旧暦2月19日) 筑紫野市天拝坂
サンショウの花が咲きかけていた。雌雄異株なのでこの花はと観ると、黄色の花粉があるので雄花のようです。ということは実はつかないということか。



4月21日(旧暦3月6日) 太宰府市北谷
四王寺山の焼米ヶ原で見かけた。直径2cm以上。果実でもなさそうだし、表面に突起が出かかっている。虫こぶか？。バラ科の葉っぱのようなので、バラハタマフシかもしれない。



4月27日(旧暦3月12日) 福岡市中央区渡辺通
柑橘類、晩白柚の花である。花はタチバナによく似ているが、葉には小翼がついている。この様な状態を、単身複葉ともいうらしい。家紋の橘紋にこの小翼はない。同じ柑橘でも系統が違うのだろうか。

くすのき 2018年5月号投稿原稿-本のむし
Nais-fukuoka 福岡県自然観察指導員連絡協議会

春日公園 コケなどの観察会 4/15（日）14時から16時まで。参加者は子供たちを含め21名、観察の案内をしていただいたのは、角正博先生でした。1年に1回の観察会ですが、こういう生きものへの関心が高いようでした。



みんなでいろいろな苔探し（コケ目線）撮影 田村耕作



撮影 山本勝

観察した場所は、自然風庭園の区域です。針葉樹と落葉樹の入り混じった林で、野鳥などもよく観察できる環境です。観察することが出来たのは、約20種でした。コケの撮影は 山本勝さん。

モジゴケの仲間



ヒメジョウゴゴケ



サヤゴケ



苔などの観察会感想（2018.04.15）

●赤松林のアオシノブゴケ、コバノチョウチンゴケ、ヘチマゴケなど、苔庭の主役たちに出会えたことが、今日の感謝です。落ち葉かきを欠かすとやがては消えてしまうこと、生き残りでヘチマゴケはやがて消えるだろうこと、勉強になりました。

Mas yamamoto

参加した子供さんの感想表現（1）

●今日はありがとうございました。毎回驚きがありますが、今回は苔の根が他の植物とは役割が違うということです。水も吸い上げず、養分も取り込まないとは・・・。体のつくりが全く違うんですね。村尾裕美

●いつも踏みつけていた苔ですが、一生懸命に生きていることがよくわかりました。とても小さい世界ですが、色々な形のコケ、色もあり、美しいと感じました。ヒメジョウゴゴケはとても特徴的なので、忘れな
いと思います。ハイゴケもいつも見ていると思いましたが、これからはきちんと
観たいと思います。幹にあるのはカビかと思いましたが、コケ（自分で農業をしている）・・・。川部

●角先生の話は分かり易いと思います。公園の一部分しか見ていませんが、沢山のコケ類がありそうです。少ししか憶えられないと思いますが、機会があれば、写真に撮ってみたいと思います。・・・

●コケ類、地衣類について習いましたが、かなり難しいです。奥が深いです。でもこれを契機に勉強します。ごんべい

●ルーペの世界、億が深すぎる！ N

●地衣類が“ソウ類を育てるキノコ”だということを初めて知った。それだけでも参加したかいがあった。肉眼で同じように見えても、実は様々な種類があり、コケ類の奥深さを感じた。

●苔寺で見るホソバオキナゴケやサヤゴケ、ハイゴケなど名前がわかり、勉強になりました。地衣類もこれから気をつけて観察します。



●コケの種類が多いと分かり、色々なコケが見られた。コケを探して、面白くて、楽しかった。お勉強になります。ありがとうございます。BE

●ホソバオキナゴケが大変美しく感激しました。楽しい時間ありがとうございました。なかなか前進できず、一体何種類のコケが春日公園にあるのでしょうか。散策が楽しみです。日本風庭園、Good! Ji

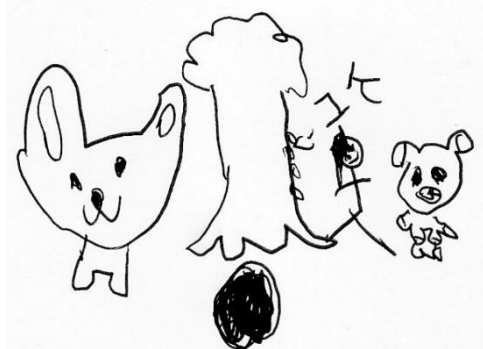
●自然あそび館にも初めて来ましたが、コケの仲間の話も初めてのことばかり。何か手がかりが。もう一度同じコースを回ってみるのが、第一歩かなと思っています。講師の角先生、お世話していただいた皆様に感謝しております。また、苔の観察会を企画してください。有難うございました。

●久しぶりの観察会参加でした。相変わらず楽しい時間でした。わずかな空間に多くの命、素晴らしいですね。有難うございました。宝

●地面にひざをついて、また、木の肌に顔を近づけて、コケを観察するなんて、初めての経験で、意外にはまりました（夢中になりました）◎ 今後、公園や山を歩く時、コケ目線で歩いてみようと思います！楽しい経験、発見でした。有難うございました。教代

●足もとの小さな生きものを見るのは楽しい。アリンコの気持ちになると木の上の苔や地衣はジャングルのように見えるだろうな、と思います。原生林を守るように、小さな自然も大切にしていって気持ちを育てたい。

●蘚苔類と地衣類の違いが判りました。非常に分かり易くてよかったです。色んな所にあるという事が判って良かったです。



参加した子供さんの感想表現（2）

● こんばんは。子どもも含めて参加者21名は、予想外でした。また遠く古賀市などからも来られていて、コケへの関心の高さを感じました。さらに蘚苔類や地衣類に関心があって参加しましたと自己紹介された人がいたり、「モジゴケを見つけた」と、地衣類の名前をいって呼びに来られる人がいたりということは、今まであまりないことでした。そこへさらにクマムシの話題が出てきた時には、単なる一般参加者ではない生物に深い関心を持ってある方も結構参加していらっしやるのがわかり、気が引き締められました。また地衣類観察ブックを購入されて、ひそかに鞆に忍ばせてきていた人がいたり、今回は、今までにない関心の高さにビックリさせられることが多い観察会でした。またアカマツの樹皮の0.5mm程度の地衣類の子器に気づいた参加者のコケ目線も、今はやりのコケガール並みに、腰を落として「木の幹におでこがつくくらい近づく」を実践してできるものです。全国的にも蘚苔類や地衣類の観察に興味を持っている人が増えているのは確かですが、福岡では、コケをテーマにした観察会は、まだまだ人は集まらないだろうと思っていました。どうしても美しい花が咲いたりする種子植物に比べると、蘚苔類、地衣類、いわゆる菌類、藻類は目立たない存在です。しかし、自然界では、これらは、地上はもちろん、岩や石垣、コンクリート壁、樹幹、さらには維管束植物の葉上と、多くのものを広く覆っていて、多層的な自然を形づくっています。目立ちませんがこれも自然です。今回、多くの方がこうした基物を広く覆い遷移していく自然にも目を向けていただいたこと大変感謝しています。

角 正博

お知らせ 自然観察指導員の講習会

2018年12月1日（土）から2日（日）に、国立夜須高原青少年自然の家で開催予定
ネイチャー佐賀、熊本県自然観察指導員連絡会、ナイス福岡の3団体で進めています。

皆さん、多くの参加者を紹介してください。

また、講習会の準備、夜須高原での実施には、会員の皆様の協力が必要です。

協力できそうな会員さんは、連絡をいただけませんか。

現在、2名の会員から、連絡がありました。もう2名、連絡が欲しいですね。

連絡先：090-8220-6160（携帯）、メールアドレス：kurabird-.tamura@nifty.com

ナイス福岡 事務局田村

- 6 -